

(表1: 事業が属する業種ごとの最近1年間の売上高等)

業種(※2)	最近1年間の売上高等	構成比
(※1) 業	円	%
業	円	%
業	円	%
業	円	%
全体の売上高等	円	%

※1: 兼業者であって、指定業種の中で最近1年間の売上高が最大の業種名を記載。

※2: 業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

新型コロナウイルス感染症の影響(売上高の減少)が発生し始めた年月^{※3}

年	月
---	---

※3 新型コロナウイルスの影響から1年以上経過した場合の比較は、影響(売上高の減少)が発生し始めた月以降は比較対象に入らず、原則として前々年の同期と比較してください。

(表2: 指定業種の最近1か月間^{※4}の売上高等と前年または前々年同期^{※3}の比較)

指定業種の最近1か月間の売上高等			指定業種(左記A)の前年または前々年同期の売上高等		
年	月	売上高等(実績)	年	月	売上高等(実績)
		A 円			B 円

(表3: 企業全体の最近1か月間^{※4}の売上高等と前年または前々年同期^{※3}の比較)

企業全体の最近1か月間の売上高等			企業全体(左記G)の前年または前々年同期の売上高等		
年	月	売上高等(実績)	年	月	売上高等(実績)
		G 円			C 円

※4 「最近1か月間」とは申請月の前月または前々月を指す。また、新型コロナウイルスの影響により、最近1か月間の売上高等での比較が適当でない特段の事情がある場合、その理由を余白に明記したうえで、最近1か月(申請月の前月または前々月)を含む連続した過去2~6か月以内の平均売上高等としても可。その場合、何月から何月を使用したかの期間も明記すること。さらに(B)も同条件での比較とする。(例: 令和3年10月中に申請の場合、最近1か月間の売上高等を令和3年4月~9月の平均売上高として可)

(表4: 表2の期間後2か月間の売上高等)

指定業種(上記A)の向こう2か月間の見込み売上高等			指定業種(左記D)の前年または前々年同期 ^{※3} の売上高等		
年	月	売上高等(見込)	年	月	売上高等(実績)
		円			円
		円			円
合計		D 円	合計		E 円

(表5: 表3の期間後2か月間の売上高等)

企業全体(上記G)の向こう2か月間の見込み売上高等			企業全体(左記H)の前年または前々年同期 ^{※3} の売上高等		
年	月	売上高等(見込)	年	月	売上高等(実績)
		円			円
		円			円
合計		H 円	合計		F 円

(表6: 前年の企業全体の売上高等に対する、指定業種の属する事業の売上高等の減少額等の割合)

最近1か月間	$\{(B-A) \div C\} \times 100 =$	%	} 小数点第2位以下切り捨て
最近3か月間	$\{(B+E)-(A+D)\} \div (C+F) \times 100 =$	%	

(表7: 企業全体の売上高等の減少率)

最近1か月間	$\{(C-G) \div C\} \times 100 =$	%	} 小数点第2位以下切り捨て
最近3か月間	$\{(C+F)-(G+H)\} \div (C+F) \times 100 =$	%	

横手市長 殿

上記のとおり相違ありません

令和 年 月 日

申請者 住所

氏名

印